

単元名：筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

教材「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」（光村6年下）

主張文Ⅱ

平和への主張

U・Y

皆さんは、今、世界に、どれくらいの核弾頭があると思いますか。資料によって違うのですが、一万六千発とも二万七千発あるとも言われています。ぼくは、この数にもびっくりしましたが、それ以上に、一体何発あるのかははっきりしていないことが、とても不気味に思えました。ぼくは、原爆をこの世から絶対になくさなければならない、そして戦争もなくさなければならないと強く考えています。そこで、ぼくは、どれだけ核兵器がおそろしいものなのかをもう一度自分なりに知り、ぼくと同じように核をなくそうと考えている人人がどのような活動をしているのかを知りたいと思いました。

まず、核兵器のおそろしさです。ぼくは、原爆が落とされた後の広島や長崎の写真をまっすぐに見ることができませんでした。目玉や内臓の飛び出た写真。目の前で自分の子が焼け死んでいくのを、ただ泣きわめきながら見ているしかなかったお母さんの話。ぼくは、こわくて、はきそうな気持ちになりました。何もかもが地ごくです。でも、原爆のおそろしさはそれだけではありません。放射線を浴びた人は、生き延びたとしても、ガンなどの病気になって死んでいくのです。今でも、原爆の後い症で苦しんでいる人々もいるのです。四十五年もたっているのにです。こんなものが何万発もある世界が許されて言い訳がありません。それでも、開発しようとしている国があることにぼくは腹が立ってきます。

次に、ぼくは、核兵器をなくそうとしている人々の活動を調べてみました。ぼくが最も興味をもち、ぼくにも協力でいそうだと思ったのが、核兵器廃絶を求める一千万人署名活動です。これは、二本で行われている活動です。一千万人分の署名を集めて、政府と国連に提出する運動です。一千万もの人々が協力すれば、それが大きな力となって、全世界へ平和への思いが広がっていくと思います。署名をしていく中で、核兵器の問題についてたくさんの人々に知ってもらえます。ぼくも署名がしたいと思います。また、ぼくは、核兵器解体基金というのにも興味を持ちました。一つの核兵器を処理するのに約一千万円の費用がかかるそうです。それを、世界の人々からの募金でまかなおうとする取組だそうです。

ぼくも、おこづかいの中から少しでも出せそうです。他にも、たくさんの活動があります。ぼくは、こんなにもたくさんの活動がされていることに、少しだけ安心しました。

ぼくが最近一番うれしかったのは、オバマ大統領の「核なき世界」への宣言とその決議です。世界のたくさんの人々が核のない世界を祈っています。あのおそろし原爆のことを、ぼくも、できるだけ多くの人に伝えていきます。そして、あの原爆や戦争によって犠牲になった人々の思いを、いつまでも忘れないようにしていきたいと思います。